

令和4年沼津市教育委員会第4回定例会会議録

1 日 時 令和4年4月21日(木)
午後3時00分～午後4時50分

2 場 所 青少年教育センター2階 会議室

3 日 程

(1) 開会

(2) 会議録署名人の指名(川口委員 佐藤委員)

(3) 教育委員会出席者の紹介

(4) 教育長報告

(5) 議案

なし

(6) 協議事項

なし

(7) 報告事項

報告事項1 令和4年度第41回沼津市わたしの主張大会について

報告事項2 小学校5・6年生への市立図書館利用者カードの発行について

(8) その他

こいのぼりフェスティバルについて

(9) 報告事項

報告事項3 令和4年度沼津市民大学の開催と受講者募集について

4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 土屋葉子、委員 川口浩史、委員 重光純、
委員 佐藤清子、教育次長 山本貴史、教育指導監兼学校教育課長兼情報教育推進室長 山崎巖、
教育企画課長 原将史、学校管理課長 望月浩司、沼津市立沼津高等学校事務長 大沼政彦、
教職員研修センター所長 中嶋記恵子、文化振興課長 林敬博、
生涯学習課長兼ゆめとびら舟山所長 後藤寿代、
学校教育課副参事(教職員担当)兼教育委員会青少年教育センター所長 内田要、
図書館事務長 中澤芳子、学校教育課長補佐 渡邊芳久、
調整担当・教育企画課長補佐 内村一徳、教育企画課指導主事 栗原克弥、
教育企画課指導主事 松岡ミュキ、教育企画課指導主事 岩本智明、教育企画課主任 藁科奏

5 会議内容

(1) 開会

奥村教育長が午後3時00分開会を宣言する。

奥村教育長 年度の初めにあたり、会議の開催に先立ち挨拶させていただく。先日は、早朝よ

り教委校長会へ御出席いただき感謝する。その前日4月7日には、穏やかな晴天の下、市立の小中高校で感染対策を徹底し入学式が無事に執り行われた。来賓を招かず保護者の人数も限定し時間を短縮して行った学校、保護者を別室に集めオンラインで中継した学校、始業式を運動場で行った小学校もあった。いずれにしても感染対策を徹底した取組に心から感謝する。また、変異を重ねる新型コロナウイルスに、オミクロン株のB.A.1とB.A.2の特徴を兼ね備えた新たなる変異株XEが国内で発見された。沖縄では第7波が押し寄せ、本市においても予断を許さない状況である。もうすぐ中学校では修学旅行が始まる。引き続き緊張感を持ち、子供たちの健康管理に万全を期して学びの保障をしていきたいと思う。

毎日報道されるロシアによるウクライナ侵攻では、「無差別攻撃」「民間人大量虐殺」「ジェノサイド」など、数々のおぞましい言葉が聞かれる。家を失い、学校や病院も爆破され、死を覚悟しながら地下へと逃げ込む市民が生き延びるには国を離れるしかないが、これまでに多くの子供たちを含め、数万の民間人の命が奪われている。悲惨な光景が伝えられているが、ロシアはそれをフェイクだと突っばねている。国連では、母親を亡くした9歳の子供の母親に宛てた手紙が読み上げられ、胸が張り裂けそうであった。ウクライナの各都市で家族の命を奪われた子供が泣き叫ぶ状況を、世界中の子供たちはどのように受け止めているのか。平和を祈ろうと呼びかけるだけでよいのか。命の危険にさらされる人たちや戦争により孤児となった子供たちに思いを馳せた上で、事実を知ること努め、自分の考えを持って友達と意見を交わすことは必要だと思う。2つの国の歴史や旧ソビエトにおける関係、アメリカやEUとの関係、食料やエネルギー等の世界経済への影響、環境問題など、全てがSDGsに関わる問題でもある。いろいろな視点が見え、様々な考え方があることが分かってくる。それらを少しでも広く深く理解し、この事態をどう考えるかを議論することは非常に大切である。たとえ自分たちが侵攻を止められなくても、この問題を考える仲間を増やすことが平和を守る一歩に繋がると思う。長期戦になるかもしれない。この後一体、何人の命が失われなくてはならないのか、一刻も早い戦争の終結を強く願う。

このように先行きが見通せず不安が募る現状だが、先月末に新聞で沼津の子供たちの活躍が掲載され、元気をもらったので紹介する。一つは、昨年度開校した長井崎小中一貫学校の児童生徒有志が、プロの写真家やイラストレーター、地域の大人たちと一緒に地域情報誌「うらっち」を発行した記事である。内浦、西浦の「うら」に、仲間を意味する「うちっち」という表現の「っち」をつけたそうである。この取組は令和2年度から始まり、子供たちが自分たちの住むまちを取材し、地域の魅力を地域の内外に発信している。今回が2冊目となる「うらっち」は、市役所やららぽーと沼津など市内各所で配布し、YouTubeの公式チャンネルでも動画配信している。動画自体もとても構成がよく、子供たちが生き生きと話す姿を見て非常に感心したので是非御覧いただきたい。もう一つは、市立沼津高校の1年生が、小中学生向けにまとめた職業人へのインタビュー冊子「＃ぬまづしか勝たん」を作成した記事である。地域に貢献できる人材育成を目指す「沼津未来創生プロジェクト」と称した探究学習の一環として取り組み、沼津商工会議

所青年部の協力を得て完成した冊子を、先日本市に寄贈してくれた。小学校5・6年生と中学校の各クラスに配布し、地域学習や沼津の魅力伝えるキャリア教育の教材として活用してほしいとのことだった。これからの学校教育は、子供の主体性を伸ばすことが求められる。このような学びを通して、子供たちが自分の考えを持ち、それを主張できる力を鍛えなければならない。学校訪問の際には、今後は探求力の育成が非常に大事になると話している。授業はもとより普段の生活の中で、子供自身が様々な事象に関心を持つことが大切である。「なぜだろう?」「調べてみたい」「こうすればいいんだ」等の探求や解決に向かう姿勢は、未来社会を生きる子供たちに身に付けさせたい力だと考える。本日紹介した二つの事例は、まさに探求に重点を置いた取組である。大人を含め、多くの人々とのコミュニケーションを通して、優しさや思いやりに気づき感謝の気持ちを持てたり、新たな発見などのワクワク感を体験したり、そしてそれが行動力に繋がったりする。また、情報発信に向け、写真やイラスト、文章構成などの表現力や創造力も身につく。そして何より自分が生活する地域への誇りや地域愛が生まれ、さらに人の役に立ちたい、地域のために貢献したいという志を持つ、まさに沼津市が目指す「貴き志を持つ人づくり」に繋がる素晴らしい取組である。

また、今年度の新規事業として始まる市内全中学生を対象とした英語パフォーマンステストや、県教育委員会から指定され、3年間、外国籍や発達障害等、特別な配慮を必要とする幼児に対するインクルーシブ保育の研究に取り組む。これらを含め、策定から2年目となる教育基本構想に掲げた貴き志を持つ人の育成に向けて、今年度も皆様と一緒に頑張りたいと考えておりますので御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に川口委員、佐藤委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は一部非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

(3) 教育委員会出席者の紹介

教育委員会出席者の自己紹介及び今年度の各課の主要事業について説明する。

(4) 教育長報告

奥村教育長 新年度初日の4月1日、午前中は教育委員会への配属者3人を含む43人の沼津市新規採用職員の辞令交付式に出席した。慣れない場所での緊張した姿の中にも、市職員として様々な分野で役に立つ仕事に携わっていく意欲や希望に満ちた若者の姿を拝見した。その後、教育委員会事務局職員の転入・異動・昇任者54人の辞令交付を行い、午後には、小学校16人、中学校8人、併せて24人の新規採用教職員の受入式も行った。新規採用教職員に対し、教職の魅力とともに教育公務員であることの責任についても伝えた。

4月6日には県庁で市町教育長会が行われ、冒頭、県教育長から4月に入り公立

学校教員の逮捕が相次いだことを受け、緊急メッセージが発信された。しかし、その4日後に裾野市の中学校教員と富士市の消防士の2人が、10代後半の女性2人と深夜に屋内施設で騒いでいたのを通報され、未成年者誘拐容疑で逮捕される事件が発覚した。本市では、この3年間で4人もの逮捕者が出ている。教職員及び事務局職員一人一人が不祥事を自分事として捉え、今年度こそ沼津市から不祥事を起こす職員を一人も出さないよう取り組んでいく。

また、4月10日には、10年前に国の登録文化財となった原の帯笑園で行われた桜草の鑑賞会と琴の演奏会に、文化振興課長と出席した。この日は夏日のような暑さであったが、日陰で琴の演奏を楽しんだ。琴と尺八の音色が全身に染み渡り、とても穏やかに優雅な気持ちになった。そして4月11日には、沼津教育会館にてALT訓示式に出席した。約20人のALTの皆さんを前にして、昨年に引き続き、英語で訓示を行った。何度も練習して本番に臨んだが、中学生になった気分がとても楽しく感じられた。4月の教育長報告は以上とする。

<議案>

奥村教育長 日程(5)議案ですが、本日は案件なし。

<協議>

奥村教育長 日程(6)協議事項は、本日は案件なし。

<報告>

奥村教育長 日程(7)報告事項である。

報告事項1 令和4年度第41回沼津市わたしの主張大会について

<市内中学校に在籍する中学生が、日常生活の中で考えていることを広く市民に訴えることにより、社会の一員としての自覚を高めるとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を深めることを目的として、令和4年6月11日に市民文化センターにおいて、沼津市わたしの主張大会を開催する。市内19中学校で選出された代表生徒が、日頃抱えている思いや考えを発表する。この市内大会で発表された全ての作品を、静岡県「わたしの主張2022」の出場者応募原稿とする。>

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わったが、本件に対する御質問、御意見等はいかがか。
昨年のわたしの主張大会では、人権、環境問題、性的マイノリティなど、様々な話題が取り上げられていた。先生方の御指導もあると思うが、文章構成も素晴らしく、中学生がこれほどの自分の考えを持ってステージに立ち、多くの人々の前で発表する姿は非常に頼もしいと感じた。昨年は、コロナにより教育委員の皆様を御招待できなかったが、今年はいかがか。

生涯学習課長 今年度は、コロナ前の形式で開催したいと考えている。教育委員の皆様にも御

案内するのでよろしくお願ひしたい。

- 川口委員 1度だけ見たことがあるが、その場で発表して終わりでは非常にもったいないと感じた。中学生がいろいろなテーマで話をするので、例えば、テーマにあった市のイベント等で発表してもらってもできる。大会でまとめてやるだけでなく、別の活用方法もあると思う。そうすればもっと多くの人々に見てもらえ、子供たちがこんなことを考え、こんなことに気づいていると知ってもらえる。そのあたりはいかがか。
- 生涯学習課長 大会の様子は、DVDにして各中学校、出場生徒、地域の青少年を健やかに育てる会に配付している。YouTubeにもアップしているので、是非御覧いただきたい。ケーブルテレビでも2回ほど放映している。これからも広く皆様に見てもらえるようにPRしていきたいと考えている。
- 奥村教育長 各校から1人が代表として出場するため、学校祭文化の部でステージ発表をして生徒や保護者に紹介する機会を設けている学校もある。もう少し異なる年齢層の方々に知ってもらえる機会を作れないかというのが、川口委員の御意見である。
- 川口委員 発表を見たとき、みかんかお茶のような地元の産業のことを話した生徒がおり、産業と結びつけることでもっと広がっていくのではないかと思った。
- 奥村教育長 生涯学習課でも検討願う。
ほかにないようであれば、本件は報告を受けたということで御了承願う。

報告事項2 小学校5・6年生への市立図書館利用者カードの発行について

＜子供の読書量は、年齢が上がるにつれて低下する傾向が見られるため、中学生や高校生の読書離れに向けた取組の一つとして、小学校5・6年生の希望者に市立図書館利用者カードを、学校を通して発行し、幅広く本に触れる機会を促すことで、小学校高学年からの読書活動推進を図る。希望者は、1人1台端末であるクロームブックを活用し、利用者カード発行の申込を行う。＞

(図書館事務長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 説明が終わったが、本件に対する御質問、御意見等はいかがか。
- 佐藤委員 クロームブックで本の貸出しを依頼した場合、どこかに取りに行くのか。
- 図書館事務長 市立図書館以外にも地域ごとの地区センターにも図書室がある。クロームブックで本の貸出予約をし、地区センターの図書室で受け取れるが、そこまでは本を取りに行かなければならない。電子書籍もあるため、そちらはクロームブック上で閲覧できる。
- 佐藤委員 借りるときに、地区センターを指定するのか。
- 図書館事務長 そのとおりである。予約もできる。地区センターの図書室にも本を置いているので、そちらを借りることもできる。
- 佐藤委員 自分の探している本を最寄りの地区センターに取り寄せられるのか。
- 図書館事務長 取り寄せられる。本の到着をメールで知らせ、取りに来てもらっている。
- 奥村教育長 居住地に関わらず、どの地区センターも使えるのか。

図書館事務長 特に決まりはないため、どこから借りてどこに返しても大丈夫である。

奥村教育長 電子図書館についてはいかがか。

川口委員 電子図書館のアプリを作り、そこから電子書籍を閲覧できるようにしたらいかがか。もっと利用がしやすくなると思う。社会全体を見ると、カードを作ることをしなくなっている。

奥村教育長 1人1台端末があるので、そこにアプリを入れる提案である。

図書館事務長 残念ながらアプリの開発までは至っていない。現在はホームページから閲覧する形である。沼津市内に在住、または通勤・通学している方が借りることができる。利用者カードの新規発行や更新時に住所確認をする必要があるため、今のところアプリの開発までは考えていない。

奥村教育長 今後、居住地を限定するアプリの開発は可能か。

川口委員 マイナンバーカードがもっと普及すれば、解決すると思う。子供も作れるので活用できると思う。

重光委員 私の子供は、生まれたときから親が利用者カードを作り、更新もしている。先程佐藤委員から質問があったとおり、図書館の使い方について、わかっていると便利な使い方もあると思う。カードを作るだけでなく、併せて学校で市立図書館の使い方をアナウンスすると、子供たちはこれまで知らなかった使い方がわかり、より利用しやすくなると思う。ホームページを見ればわかるが、意外に便利に使えるという気づきがあれば利用者が増えると思う。そういった方向でも御検討いただければ嬉しい。

奥村教育長 教職員研修センター所長、これまでの学校現場での経験から、そのような指導の場面はあるのか。

教職員研修センター所長 市立図書館と連携したアナウンスを行ったことはないが、学校図書室の使い方が、配列や図書の探し方などで市立図書館とつながりがあると思う。図書室のガイダンスをするときに市立図書館との連携を盛り込むことで、より幅広く読書活動を推進できると、今のお話から感じた。

奥村教育長 時間と業務の関係もあるため難しいかもしれないが、市立図書館の職員が学校に訪問して説明を行う連携の仕方もあると思う。実際に図書館での調査データとして、5・6年生の読書率と中学校入学後の読書率が急激に下がっている。読書離れが明確にデータで表れているため、5・6年生の夏休みまでに利用者カードを発行することで読書環境を整える施策である。強制はできないため希望者としているが、周知の仕方によって希望者の数は大きく変動すると思われる。希望者が1人でも多くなるような効果的な告知を期待する。

佐藤委員 文庫本は別だが、一冊の本を作るとき、作り手は、文字の大きさ、紙の手触り、表紙、見返しの色等、トータルで著作者の意図を汲み取って作成する。電子書籍では、実際に本を手にとって触れることがないため、その部分の子供の感性は育めない。また、電子書籍では、本が並んでいるところを見て探していた本以外にも、こんな本もあるという新しい発見ができず、同じ図鑑でも出版社や編集者による違いがあることにも気づけない。飛び出す絵本のように電子書籍では経験できないものもある。電子書籍の利便性が高いことはよくわかるが、

それに偏らず、紙の書籍との併用をお願いしたい。

奥村教育長 学校教育の現場でも、これまでの経験を生かしてデジタルとアナログの併用を模索している。佐藤委員の御指摘のとおり、どちらかに偏ることなく、それぞれのよさを生かすことが重要である。図書館でも、ビブリオバトルのように実際に紙の本を紹介し合う取組を行っている。電子書籍だけでなく、アナログのよさも忘れることなく進めてほしいと思う。

土屋委員 市立図書館の利用者カードは、今ほどのような形で入手できるのか。図書館設立当初は、小中学生を含め全ての市民に配られていた。私は、その時のカードを未だに持っている。市民が利用しやすくするためには、最初の段階を広げることが必要だと思う。今は、希望者のみに発行しているのか。

図書館事務長 現在は、全市民ではなく希望者のみに発行している。図書館または地区センターで、身分証の確認等はあるが、当日すぐに発行できる。再発行は、カード代金として100円かかるが、すぐに再発行できる。以前に利用者カードを作りしばらく使っていない方もいると思うが、すぐに更新も行える。お子さんに関しては、0歳から発行できる。5・6年生の中にも利用者カードをすでに所持している児童もいる。今回改めて利用者カードの有無を確認してもらい、新規作成だけでなく、再発行や更新もしてもらい、図書館を身近に感じてほしいと思う。

奥村教育長 データ管理で利用者カードの所有者を把握しているのか。

図書館事務長 把握はしているが、確認まではしていない。カードを作り、そのままになっている方もかなりいる。

奥村教育長 土屋委員から以前は市民全員に利用者カードを配っていたという話があったが、例えば、小学校の入学時に、市立図書館から入学生に利用者カードを進呈するサービスは難しいのか。

図書館事務長 即答はできないが、検討の余地はあると思う。

奥村教育長 重光委員の御家庭のように、就学前に保護者が利用者カードを作っている児童を除き、入学生に進呈することは検討できると思う。そういうことも図書館の活用の推進につながると思うので、よろしくをお願いしたい。

ほかにかがが。

ほかがないようであれば、本件は報告を受けたということで御了承願う。

<その他>

奥村教育長 日程（8）その他、何かあるか。

こいのぼりフェスティバルについて

<4月29日から5月5日までの7日間、御成橋からあゆみ橋までの狩野川河川敷に、市民の方々からの寄付等によるこいのぼりを掲揚する。今年度は新たにららぽーと沼津とコラボレーションし、吹き抜けになっているひかりの広場にこいのぼりを掲揚している。また、2階、3階で狩野川のこいのぼりの写真展も実施している。こいのぼり掲揚期間は、正午の時報をこいのぼりの歌に変更す

る。>

(生涯学習課長より説明)

奥村教育長 4月29日、来週の金曜日から5月5日までこのぼり100匹を掲揚する。
本件について、御質問等はいかがか。
よろしいか。ないようであれば、本件は報告を受けたということで御了承願う。

報告事項3については公表前の事項が含まれているため当日は非公開としたが、公開できることとなったため公開する。

<報告>

奥村教育長 日程(9)報告事項である。

報告事項3 令和4年度沼津市民大学の開催と受講者募集について

<「豊かな未来をひらく」をメインテーマとして、広い視野を提供するとともに自ら一步を踏み出せるような市民生活に関連した内容の講義を行い、受講生の自発的な学習を促すことで、豊かな未来の創造の一助とする。元ラグビー日本代表の五郎丸歩氏、株式会社スタジオジブリ代表取締役プロデューサーの鈴木敏夫氏などの各界の著名人を招き、市民文化センターにて全9回の講義からなる市民大学を開催する。5月16日から5月31日に、インターネット、電話、FAXにより受講生を募集する。募集定員は、全9回受講生500人、特別講義のみ受講生250人である。>

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 これだけの講師陣を集められるのは素晴らしいと感心している。昨年も計画したが4回しか行えず、五郎丸歩氏には講義をしてもらえなかったため、2年連続でオファーを受けてもらった。今年は実施できることを願っている。本件に対する御質問、御意見はいかがか。

土屋委員 コロナ前は希望者が多く、落選しがっかりした方たちがいたと聞いている。昨年は、募集定員より多くの希望があったのか。

生涯学習課長 手元にデータはないが、募集定員より多い場合は、抽選を行う予定である。実際のところ、これまでの最高出席率は、1講座に対して8割程度である。募集定員の500人を超えてもある程度は収容できると考えており、応募が多数あった際に改めて検討したいと思う。

重光委員 各講座の時間はどのぐらいか。

生涯学習課長 概ね1時間半を予定している。

奥村教育長 講師の日程的な都合で期間が集中するところがあり、平日もあるが土日が多い。第5回、第6回、第7回の間隔が非常に狭く、市民の皆さんが日程を調

整するのが難しいかもしれないが、多くの受講者を期待している。今度の記者会見で報告する予定である。

ほかにならなければ、本件は報告を受けたということで御了承願う。

その他、何かあるか。

都市計画道路沼津南一色線及び高尾山古墳の整備スケジュールについて

＜高尾山古墳は、本市において唯一の前方後方墳であり、古墳時代前期初頭の本市の歴史を知る上で大変重要な古墳である。このことから、国史跡指定を目指すため、専門家より意見を徴しながら意見具申書の策定を進めている。令和3年度末に古墳を一切毀損しない都市計画道路沼津南一色線の道路測量設計がまとまったことから、今後関係各所と調整を進め、令和4年12月ごろを目標に意見具申書の提出を目指す。令和5年度に国史跡指定告示を受けられた後、令和6年度から引き続き専門家の意見を徴しながら保存活用計画の策定、史跡整備に必要な用地取得、整備基本計画、基本設計、実施設計を進めていく。古墳全体の整備時期は、道路工事の進捗と調整を図りながら実施していくものとし、令和10年代前半の整備完了を目指していく。都市計画道路沼津南一色線については、今年度は橋梁工事に向けた準備工事を行い、令和5年度から古墳の東側の橋梁工事に着手し、令和8年度には完成した橋梁を利用して上下線対面通行での暫定供用を開始する予定である。トンネル工事については令和8年度以降に着手し、令和10年代前半での4車線化完成を目指し整備を進める。＞

(文化振興課長 資料に基づき説明)

- | | |
|--------|--|
| 奥村教育長 | 2年前に、橋とトンネルを対象にしたものでは全国初のデザインコンペを実施して選ばれたデザインである。スケジュール的には、令和10年代前半、発見からかなり時間は経過するが、未来の沼津がもうすぐ近くまで来ているという感じがする。本件に対する御質問、御意見はいかがか。 |
| 文化振興課長 | 高尾山古墳は現在ベールで覆われているが、今年度ドローンで測量を行うため、その際は、ベールを全てはがすことになる。そのタイミングで、現地説明会を行う予定であるため、広報などでお知らせする。 |
| 奥村教育長 | 以前明治資料館で教育委員会を行ったとき、高尾山古墳を視察した。 |
| 文化振興課長 | 明治資料館には、高尾山古墳で発見されたレプリカがある。 |
| 川口委員 | 令和10年代前半の完成であり、長期に及ぶため大変であるが、市民、特に近隣住民に進捗状況を知らせ、何が行われているのかを理解してもらえるとよいと思う。高尾山古墳は非常に貴重なものだと伺っているので、よいものができることを期待している。 |
| 奥村教育長 | 文化庁では、文化財を保存することはもちろんのこと、活用することに重きを置いている。高尾山古墳は、沼津市の文化振興の目玉として引き継いでいくものであるため、実際にどのような活用が可能かを考えていく必要がある。完成までに非常に時間がかかることは事実である。 |

教育企画課長 道路と古墳がせめぎ合う形状は、全国的にも珍しい。古墳の下をトンネルが貫通する事例はあると思うが、このような形は極めて珍しいため、どういう形で周知をしていくのが重要である。

奥村教育長 沼津の文化財として、観光にも活用していけるように開発が進められていくと思う。

土屋委員 市民生活の上で、南一色線が繋がらないと多くの人々が不便であるため、是非とも頑張ってもらいたい。

佐藤委員 完成後は、訪れた人々が古墳だけでなく、古墳にまつわる展示物も見られるように工夫するとよいと思う。

奥村教育長 明治資料館の活用も考えられる。多くの御意見に感謝する。
ほかにないようであれば、本件は報告を受けたということで御了承願う。
そのほか何かあるか。

土屋委員 沼津市芸術祭に関わっている方が、NPO法人沼津文化協会にいた方が多く、庄司美術館でのトラブルがあったため、文芸作品集が作れないのではないかと心配している方がいるのでお伝えする。全国から素晴らしい作品を募集して作成しているのだから、早く募集をかけないと時期に間に合わなくなると聞いている。沼津文化協会のことはよくわからないが、非常に心を痛めている方もいるようなので、文化振興課で協力し、何とか例年どおり滞りなく行えるように支援してほしいと思う。

文化振興課長 御心配をおかけし大変申し訳なく思う。1点目だが、NPO法人沼津文化協会と沼津市芸術祭を開催している沼津文化協会は、別団体である。今回トラブルがあったのは、指定管理者のNPO法人沼津文化協会である。芸術祭を開催しているのは沼津市の各文化団体であり、書道や舞踊等、いろいろある。そのような各文化団体が所属して一つの文化協会を立ち上げている。今回の沼津文化協会も一度で解散という形になるが、新たな沼津の文化団体を作ろうと集まり、組織作りをしているところである。土屋委員のおっしゃるように、文芸は早めにスタートする必要がある。選考にも三木卓さんのような有名な方をお願いをしているので、文芸の実行委員と協議し、早めに募集はスタートしている。応募があった方には、手紙を配付している。

奥村教育長 説明会を実施することになっているのか。

文化振興課長 4月28日に1回目の実行委員会を行い、どういう組織で立ち上げるのかを話し合ってもらおう。市が音頭を取るのではなく、文化団体の皆さんに民間の文化団体の組織作りをしてもらいたいと考えている。どのような団体にするのかを発案してもらい、支援していく。軌道に乗るまでは大変だと思うが、できるだけサポートを行っていく。

奥村教育長 NPO法人沼津文化協会は、指定管理者なので議案として上程する手続きが必要になる。芸術祭の沼津文化協会とはスピード感が異なり、どんなに急いでもという部分がある。いずれにしても沼津の文化振興をこのまま放っておけない状況は間違いないので、一刻も早く皆さんが安心できる状態にしたいと思っている。

ほかにならないようなので、以上をもって本日の定例会を終了する。

午後 4 時50分 閉会